

MOODY'S

ムーディーズ・アナリティクスによる
独自調査

moodys.com/kyc

PEPおよび
PEP関係者
についての
一般市民の
理解





はじめに

PEP (politically exposed person) とは、重要な公的地位にある者を意味します。あらゆる公的分野にPEPは存在します。例えば、政府の役人、軍の高官、上級裁判官、スポーツ団体の幹部、国有企業のトップなどです。PEPの配偶者や家族、またはビジネスパートナーなど、PEP と密接な関係がある人もPEP関係者とみなされる場合があります。

FATF (金融活動作業部会) のガイダンスなどに明記されているように、単にPEPであるということを理由にPEPを差別したり、サービスの

提供を拒否することがあってはなりません。PEPは厳格なデューデリジェンスの対象とする必要があります。なぜなら、彼らは権力や影響力を有する立場にあり、公的資金を動かす権限も所持しているため、金融犯罪に現在関与している、または今後関与するようになるリスクが高いからです。PEPおよびPEP関係者は、例えば政府との大型契約や収益の大きいイベントの開催地について影響を与えたり、決断を下したりすることができるため、賄賂、汚職、詐欺マネーロンダリングの格好のターゲットとなります。

こうしたリスクの高さから、規制対象企業はPEPのスクリーニングを行う必要があります。これは、金融犯罪防止のためのコンプライアンスプログラムに欠かせないプロセスです。その目的は、PEPを発見して経済やビジネスネットワークか

ら排除することではなく、彼らの有するリスクを正しく評価してモニタリングすることにあります。

世界中の規制当局が、PEPに関連するリスクの管理に取り組んでいます。米国愛国者法の第312節、FATF勧告12および22、EUのAML指令、海外腐敗行為防止法 (Foreign Corrupt Practices Act: FCPA)、英国賄賂防止法は、いずれもPEPについて言及しています。

ムーディーズ・アナリティックスは、PEPの重要性、国民の生活におけるその役割、および社会全体におけるその存在感をふまえ、PEPという概念が規制当局や規制対象企業を除く一般社会でどの程度認知されているのかを把握したいと考えました。また、PEPに関連するリスクが一般の人々に理解されているのかどうかも知りたいたと考えました。そこで、米国、欧州、アジアにまたがる独立したグローバル調査を委託しました。本書はその調査結果をまとめたものです。

エグゼクティブサマリー



PEP（重要な公的地位を有する者）とPEP関係者、および彼らに関連するリスクについて行った独自調査の結果から、PEPについての一般市民の理解は実際と大きくかけ離れていることがわかりました。PEPの社会に果たす役割、国民の生活における影響力、および意思決定構造に対する権限を考慮すると、こうした情報のギャップに取り組むことはとても重要です。

調査からわかったこと:

- 定義を知らされる前にPEPとは何かを知っていると感じた人は回答者の45%にとどまりました。
- 「誰でもPEP関係者になる可能性がある」と正しく回答した人は50%未満でした。
- 33%の人は、「PEPと親睦があってもPEP関係者には該当しない」と誤って理解していました。

PEPについて正しく理解し、サードパーティー・リスク管理に結びつけることは、明らかに公共の利益となります。加えて以下の2つの理由から、一般市民がPEPについて理解することは重要です。

1. 例えば住宅ローンの申し込みや銀行口座の開設などのオンボーディングプロセスで、自身がPEPであるかどうか尋ねられる場合があります。
2. 知らないうちにPEPやPEP関係者になっているかもしれず、その結果として金融商品などの利用に影響が生じる可能性があります。

さらに、回答者の約3分の1（33%）が「PEPと親睦があってもPEP関係者には該当しない」と誤って理解していました。また、「スポーツ団体の幹部はPEPとみなされる可能性がある」と正しく理解していた回答者はわずか19%にとどまりました。

この調査結果からわかるのは、PEPとは何か、どのような人がコンプライアンスプロセスでPEPとみなされるのか、そして非常に重要なことですが、PEPと関わりのある人もPEP関係者とみなされる可能性があるということについて、世界的に明確に理解されていないということです。

確かに、PEPに関する定義や基準は国や地域によって異なるため、デューデリジェンスに関する情報を顧客に提供する仕組みを作る際にはこの点に配慮する必要があります。しかし、国民の生活におけるPEPの重要性およびコンプライアンスにおけるPEPスクリーニングの重要性をふまえると、リスク管理の一環として、この領域をもっと広く知ってもらう必要があります。ムーディーズ・アナリティクスによる今回の新たな調査が、規制対象企業とその顧客にとって行く手を照らす光となれば幸いです。

キース・バリー

ムーディーズ・アナリティクス

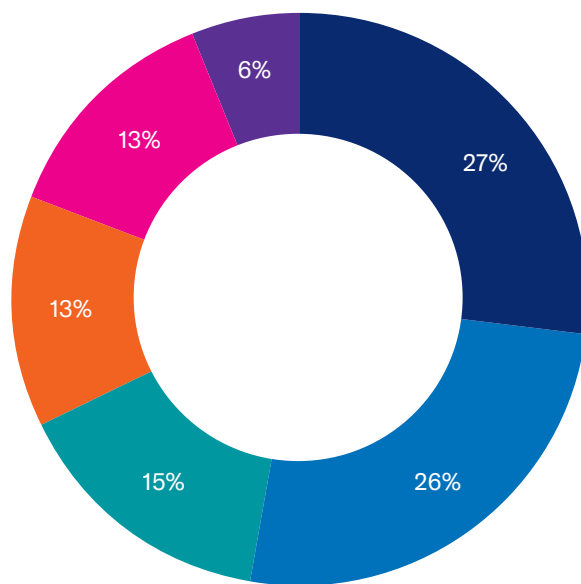
KYCソリューションゼネラルマネージャー

リサーチの概要

コンプライアンスおよびサードパーティー・リスク管理の英国PRコンサルティング会社 Resonanceが、リサーチコンサルティング会社 Censuswideおよび Surveyplanetと提携して調査を設計・実施。北米、欧州、アジア太平洋地域の一般市民7,688人を対象に、2023年7月初めから8月末にかけてデータ収集を行いました。



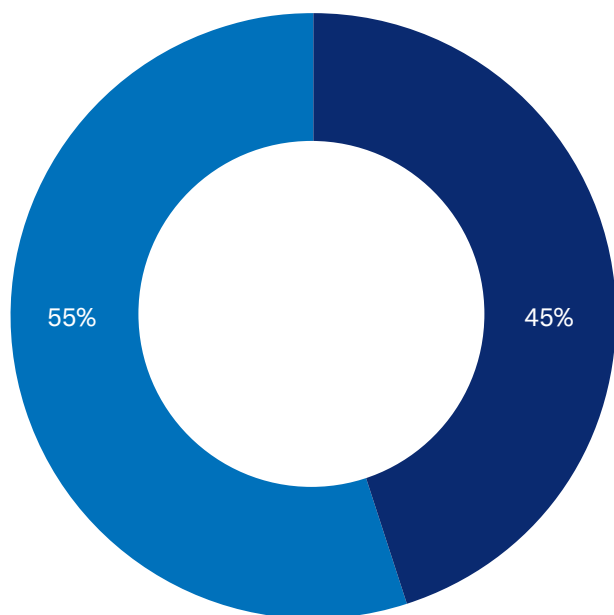
調査回答者の地域別構成



お住まいの国はどちらですか？

- 英国
- 米国
- ドイツ
- シンガポール
- オーストラリア
- フランス

PEPとは何か知っていますか？



■ 知っている ■ 知らない



選択肢 1

国内で重要な公的な役職に就いている、または就いていた人。例えば、国家元首や総理大臣、有力な政治家、政府や司法機関や軍の高官、国有企業のトップ、政党の幹部など。

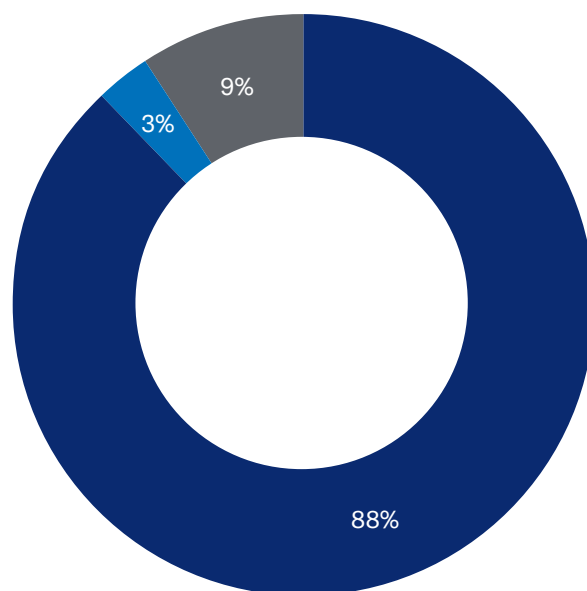
選択肢 2

国内で公共性の高い仕事に就いている、または就いていた人。例えば、清掃員、庭師、食料品店の店員、ファストフード店のスタッフなど。

選択肢 3

自国において重要な公的役割を担っている人。例えば、学校の校長、メディアの88% 著名人、ビジネス界の有力人物など。

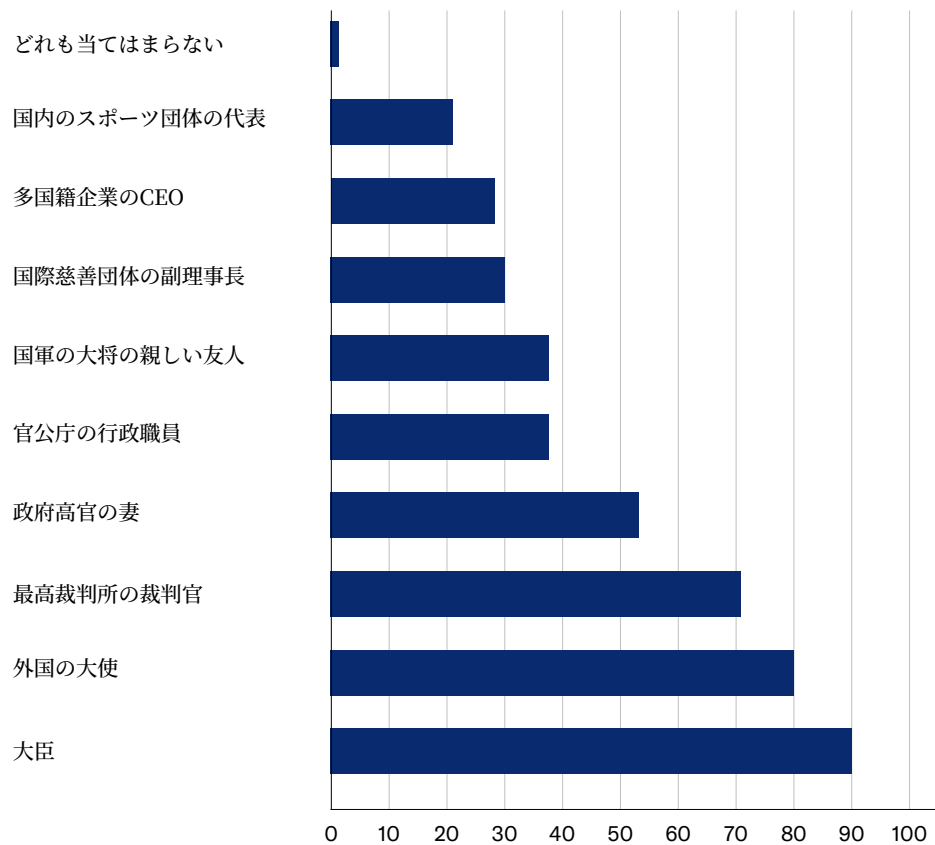
PEPについてのあなたの理解に最も近いものは以下のうちのどれですか？（1つ選んでください）



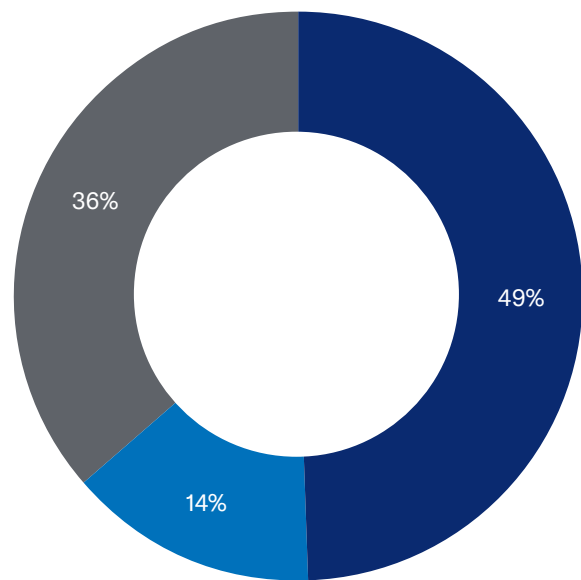
■ 選択肢 1 ■ 選択肢 2 ■ 選択肢 3

* PEPとは重要な公的地位を有する者です（正解は選択肢1）。

以下のうち、PEPに該当するものはどれですか？（当てはまるものをすべて選んでください）



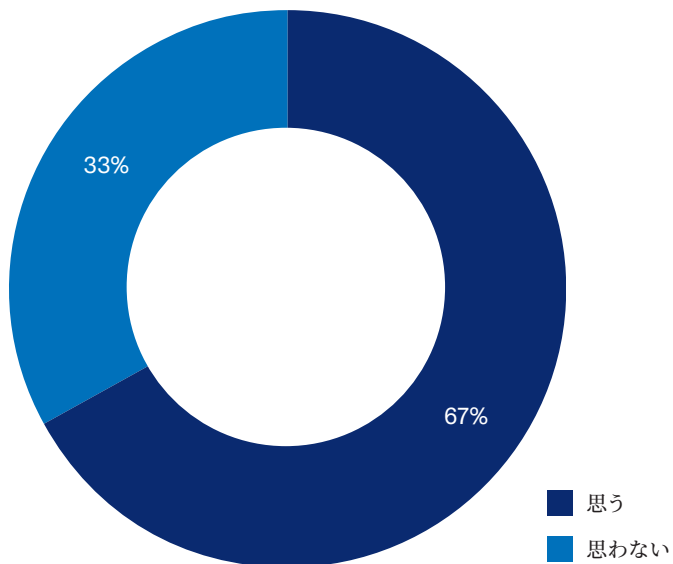
あなたもPEP関係者になる可能性があると思いますか？



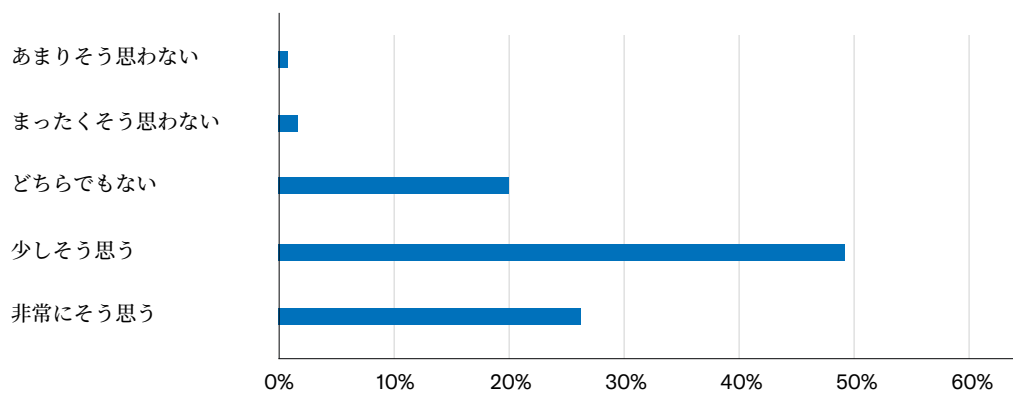
■ 思う ■ 思わない ■ わからない



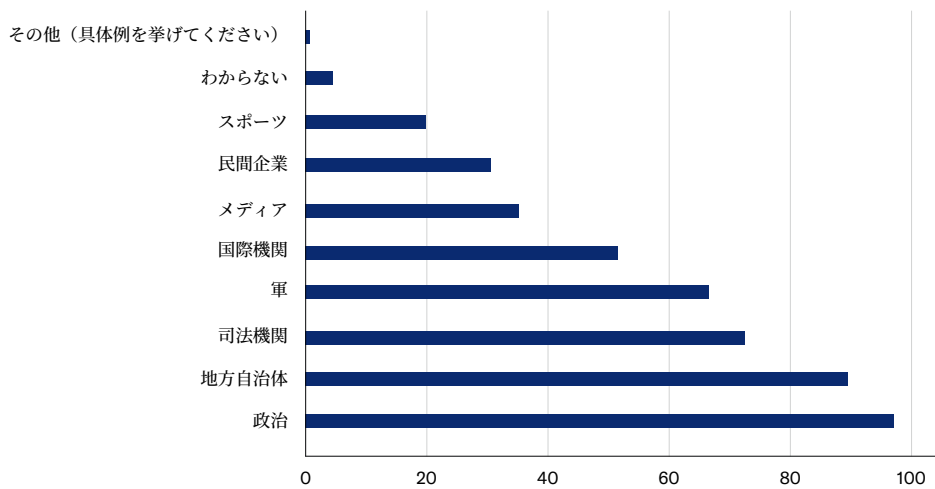
あなたは自分もPEP関係者になる可能性があるとして 33%回答しました。PEPの友人はPEP関係者に該当すると思いますか？



次の文章はどの程度正しいと思いますか？「PEPは汚職に関与しやすい」

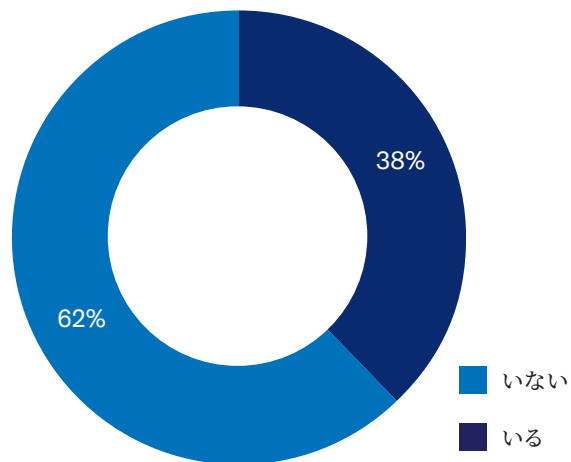


PEPに該当する可能性があるのは、以下のうちどのセクターに属する人だと思いますか？（当てはまるものをすべて選んでください）

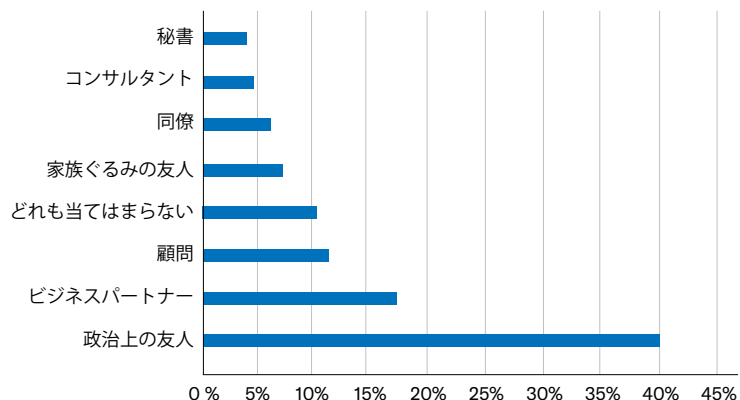


ここで、FATFによるPEPの定義を伝えました。

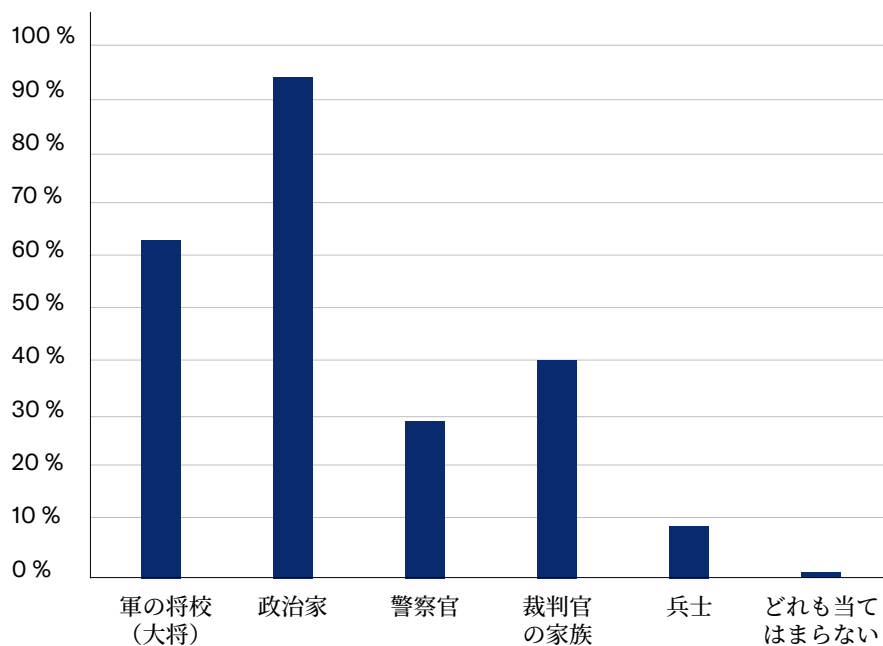
PEPの定義をふまえて、あなたの知り合いにPEPはいますか？

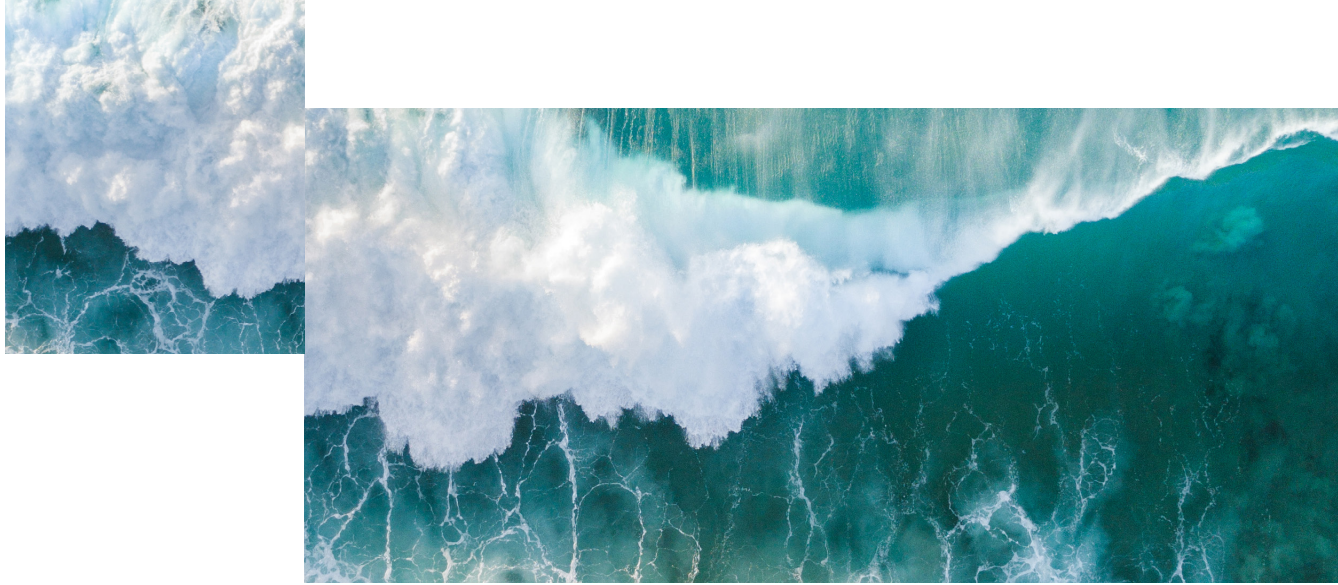


以下のうち、PEP関係者に該当するものはどれだと思いますか？

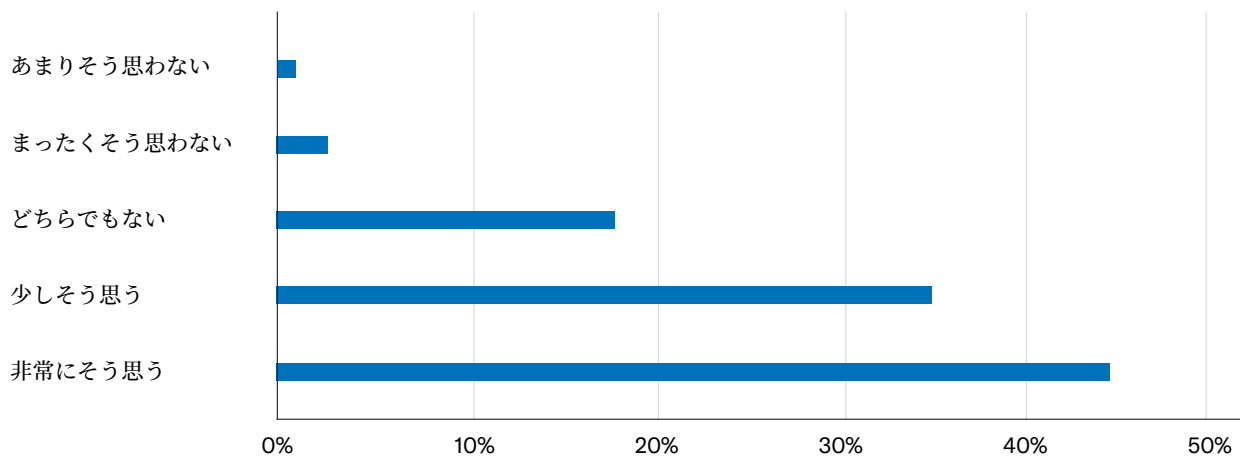


以下のうち、PEPだと思うものはどれですか？

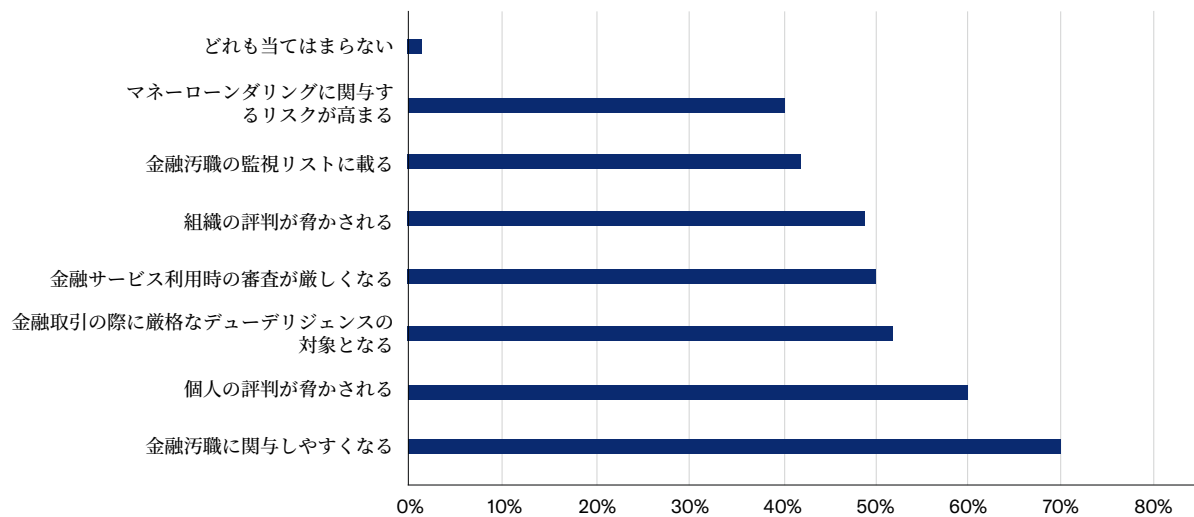




次の文章はどの程度正しいと思いますか？
 「重要度の高いPEPについて、公的な透明性を高めるべきだ」



以下のうち、PEPであるために起こることはどれだと思いますか？
 (当てはまるものをすべて選んでください)



ムーディーズ・アナリティクスKYCについて

ムーディーズ・アナリティクスKYCは、リスク管理とコンプライアンスを変革し、リスクを理解することで確信を持って意思決定を行うことができる世界を目指しています。PEPスクリーニングは受賞歴のあるデータをもとに、PEPに関連するカントリーリスク、地位や役職に関するリスク、影響をおよぼすリスク、事象リスクについて検討する独自のリスク評価システムを用いて行われます。

お客様は、当社のワークフロー・オーケストレーション・プラットフォーム、受賞歴のあるデータ、インテリジェント・スクリーニング、および25社を超える主要なグローバルプロバイダーとの連携を活用し、独自のKYCエコシステムを構築することができます。

また、当社のエンドツーエンドのKYCソリューションパッケージは、オンボーディング、オフボーディング、継続的なリスクモニタリングにおける効率的かつ効果的なデジタルリスクマネジメントおよびコンプライアンスプロセスをサポートします。

ムーディーズ・アナリティクスは革新的なテクノロジーと業界の専門知識を活かし、個人、事業体、サードパーティー・サプライヤーの正確なスクリーニングを自動化します。さらに、あらゆるビジネスネットワークにおけるカウンターパーティー・リスクの、ほぼリアルタイム、持続的なモニタリングをサポートします。

ムーディーズ・アナリティクスKYCは、197ヵ国、211の法域でコンプライアンスの自動化に向けた企業の取り組みを支援しています。1,900万件のリスプロファイル、4億6,000万件超の実質的支配者情報、および17,000件超の制裁対象者リストからなるデータベースを使用したスクリーニングなどにより、毎日4,500万件超の新規顧客およびサードパーティーチェックを行っている実績があります。

リスク管理とコンプライアンスの専門家が自在に構成できるソリューションを活用し、妥協のない効率的なコンプライアンス管理が行える卓越したカスタマーエクスペリエンスを提供します。

AMERICAS

+1.212.553.1653

clientservices@moodys.com

EMEA

+44.20.7772.5454

clientservices.emea@moodys.com

ASIA (Excluding Japan)

+852.3551.3077

clientservices.asia@moodys.com

JAPAN

+81.3.5408.4100

clientservices.japan@moodys.com

Moody's EDF-X Platform:

moodys.com/kyc

